




令和3年丹波地域県政 10大ニュース

【 】は担当所属名

NO	新型コロナウイルス感染症の拡大防止へ全力
1	【健康福祉事務所・丹波医療センター】
	<p>丹波圏域では、早期発見・早期治療に向けて、疫学調査を実施するとともに、管内の全感染者に、血液検査・肺のCT画像診断を案内。重症度判定及び重症化予測により優先順位に従って入院等の治療へつなげる丹波方式を実施。さらに各市医師会及び医療機関の連携・協力のもと、陽性患者を診断した医師自らが直接入院調整できる体制にも取り組む。また、県立丹波医療センターは、感染症指定医療機関として丹波圏域内外の感染症患者の受け入れのほか、丹波市が実施するワクチン接種への支援を行うなど感染拡大防止に取り組んだ。</p>

NO	移住活況！～4人のタンバサダー活躍～
2	【県民交流室県民課】
	<p>田舎暮らしを希望する方を対象にお試し滞在を実施し（155人195泊 10月末現在）、若い移住希望者のニーズへきめ細やかに対応するため、現地案内や地域の先輩移住者との顔つなぎ、移住相談窓口への紹介等を行う4人の移住コーディネーター（タンバサダー）が今年度から就任。たんば暮らしファンの交流イベントを実施。</p>


※写真は4人のタンバサダーの皆さん

NO	恐竜フィールドミュージアムの魅力発信と新スポットお目見え
3	【県民交流室県民課、土木事務所】
	<p>今年3月、舞鶴若狭自動車道の西紀サービスエリア上下両線に恐竜ベンチを、また7月には丹波並木道中央公園（丹波篠山市西古佐）に2体の動く恐竜模型を設置。※「丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム推進協議会」では、今年、人気の阪神間等への出前発掘体験会のほか、新たにオンラインによるセミナーと化石剖出体験やたんば恐竜街道を巡るモバイルスタンプラリー（総参加者数773、12月7日現在）も実施。</p>


※写真は動く恐竜模型

※丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム推進協議会


丹波篠山市、丹波市、丹波県民局、ほか官民各種団体計43団体で構成。恐竜化石等を活かしたまちづくりを推進。

NO	スマート農業の実用化へ ～モデル地区での実証実験開始～
4	【農林振興事務所・普及センター】
	<p>高齢化や後継者不足が課題となっている丹波地域の農業。より省力かつ効率的な農業の実現に向け、ドローンやICTを活用した「スマート農業」を推進。令和3年度からは丹波篠山市小多田と同市味間の2地域で、隣接する集落組織や大規模農家等が、共同でスマート農業技術を展開する仕組みづくりについて、実証実験を開始。</p>


※写真はドローンによる農薬散布

NO	三宝ダム管理トンネルで貯蔵・熟成した日本酒の販売開始
5	【県民交流室産業振興課】
	<p>竹田川源流に位置する丹波市春日町の三宝ダム。温度が15℃に保たれた管理トンネル内に、酒蔵3社が「HyogoSake85」等を原料とする日本酒を今年3月に蔵入れし、半年間貯蔵・熟成させ、10月9日から各酒蔵や販売店で「丹波三宝ダム貯蔵酒」として販売。同日実施した道の駅丹波おばあちゃんの里での販売イベントでは当日販売分が完売する売れ行き。</p>


※写真は酒蔵3社の三宝ダム貯蔵酒

NO	サイクルステーションオープンと「兵庫丹波チャレンジ200フルコースライド」開催
6	【県民交流室産業振興課・土木事務所】
	<p>秋日和の10月23日、サイクリストの休憩スポット「サイクルステーション」が丹波並木道中央公園（丹波篠山市西古佐）内に完成。県産木材が使用され、天井が高く開放感のある休憩スペースやシャワー室も完備。また同日と翌日にかけて、同公園をスタートゴールとするサイクリングイベント「兵庫丹波チャレンジ200フルコースライド」を開催。15名のサイクリストが秋の丹波路を快走。併せて、同公園等でサイクリストに花を添える「丹波の森ミニガーデン展」を実施。</p>

※写真はサイクルステーション

NO	丹波新地域ビジョンの策定作業進む
7	【県民交流室ビジョン担当】
	<p>20年前に策定した「丹波地域ビジョン『みんなで丹波の森』」を30年後の2050年を展望する新しい地域ビジョンにするため、昨年度から丹波新地域ビジョン検討委員会を中心に地域の方々の意見を聞きながら、検討作業を進めている。新地域ビジョン案は、県民の方へのパブリックコメント手続を経て、来年3月末に策定予定。</p>


※写真は丹波の森夢会議・丹波地域未来フォーラム

NO	コロナ禍でも丹波地域農産物をPR！
8	～各種フェアやオンラインツアーを開催～ 【農林振興事務所・普及センター】
	<p>適正なコロナ対策の推進を実施しながら、丹波の秋を楽しむ「丹波栗食べ歩きフェア」「丹波篠山山の芋フェア」「ぜんざいフェア」を開催。</p> <p>今年2月、日本農業遺産に認定された黒大豆栽培では「丹波篠山黒枝豆オンラインツアー」を初開催。第二弾の「山の芋ツアー」等、新たな手法で積極的にPR展開。また、特産物や加工品を扱うECサイトの新規開設や充実強化を支援するなど、生産者等が行う地域産品のPRや販売活動の強化を推進。</p>

※写真は「丹波篠山黒枝豆」オンラインツアー動画(R3.10.17)

NO	賑わい呼ぶ ザ・フィンランドデザイン展
9	【兵庫陶芸美術館】
	<p>北欧フィンランドの建国100周年(2017年)を記念して、ヘルシンキ市立美術館で開催された展覧会をベースとした「ザ・フィンランドデザイン展」を9月11日から11月28日まで開催。豊かな自然に根ざし、機能的で洗練されたデザインが人気を集め、同館展覧会としてはベスト5となる21,815人の来館者で賑わう。会期中には新型コロナの緊急事態宣言も解除され、展覧会とともに丹波焼の里の秋をゆっくり楽しむ姿が見られた。</p>

※写真はフィンレイソン社のテキスタイル

NO	常勤の脳神経外科医が14年ぶりに着任！
10	【丹波医療センター】
	<p>県立丹波医療センターの脳神経外科に、本年4月1日から2名の医師が常勤医として14年ぶりに着任。これまでは脳疾患手術が必要な患者は他病院へ紹介していたが、脳卒中や頭部外傷など頭部救急疾患の手術や入院受入れを再開。今後も段階的に診療体制を整備するとともに、来年4月の回復期リハビリテーション病棟開設に向けた体制構築に取り組む。</p>

(参考)

- ・同医療センター脳神経外科での手術件数 29件
- ・ 同 の入院患者数 延1,986人

(注) 上記データは、いずれも令和3年4月～10月集計による。